



園長だより

令和8年4月1日発行

ありんこ親子保育園

園長 中嶋 悦子

ご入園・ご進級おめでとうございます！温かい日差しが降り注ぐ中、ワクワク・ドキドキの1年が始まりました。ちょっぴり緊張気味の子どもたちでしたが、これから始まる園生活では、たくさんのお友達と先生と一緒に、楽しい園生活が送れるよう見守って参りたいと思います。

そして、3月31日には、10名の年長児が晴れやかに卒園していきました。卒園していった年長さん達のように、これからも幸せいっぱい成長した喜びを感じられるような保育園にしていきたいと思っています。



親も子ども、成長を楽しみに

入園してから卒園するまでの3～4年の間、子どもたちは目を見張る成長を遂げていくことでしょう。それは、親の成長とも言えるものです。子どもが2歳なら、親年齢（親歴）も2歳。子どもが5歳なら、親年齢（親歴）も5歳ですね。まだまだ成人するまで先は長いですが、子ども時代は過ぎてみれば、あっという間です。今を大切に、親も子ども大きく成長していかれることを願っています。




保育園は保護者の皆様と共に子どもを育てる場所

子育てを家庭だけで行うのは困難なことです。子どもは、家族、保育園、幼稚園、学校、行政、地域のたくさんの人に支えられて成長するのだと思います。ですから保育園というところは、家庭と協働で子育てをする場所なのです。そして、私たち保育者は、保護者の皆様と共に子育てをするパートナーと捉えていただければ幸いです。


しかしながら、家庭での養育環境が適切ではない場合には、子どもの最善の利益を考えて対処することが「保育所保育指針」により示されており、時には耳の痛いことをお伝えすることもございます。ご理解していただかなければならないこともございます。何卒、ご理解とご協力をお願いすると共に、わからないことはその都度お聞きください。





お互い様の気持ちをもちましょう


園児同士でのケンカやトラブル等も成長の過程では必要な経験とご理解いただき、お互い様の大きな気持ちを持っていただければ幸いです。それでも、お家でのお子さんのお話と事実が違っていたり、誤解があったりして、迷いや悩みも出てくることでしょう。でも子どもはすぐに仲直りして、何事もなかったかのように遊ぶことも多いものです。子どもの話だけを鵜呑みにするのではなく、感情的にならずに、何かあればいつでもお気軽にご相談ください。



大きな気持ちで見守りましょう

ぞう組さんは就学に向けて、支度をする事や自分の荷物は自分で持つこと、やってほしいことは自分で伝えるなど、自分のことは自分でできるようにしていきましょう。失敗や忘れ物などをする事も貴重な経験です。多少の失敗や間違いは許容範囲と受け止めていただき、失敗を恐れず挑戦できる環境が大切です。

大人が子どもに細かく指示・命令したり、注意することが増えると失敗を恐れたり依存するようになり、積極的に挑戦しなくなってしまいます。失敗をさせないようにすることよりも、多少の失敗をしても自分でやってみようとする事の方がこの時期は大切です。はじめから上手にできる人はいません。失敗しても大丈夫という大らかさを持って、子どもだけでなく周りの人に対しても大らかに許してあげることが肝要です。



おわりに

クラス担任には、保護者様との信頼関係を築くよう指導しております。保護者の皆様におかれましても、保育園で疑問に思ったことなどはお気軽に担任又は主任、園長までご相談していただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

保育園には、楽しいことがたくさんあります！ 是非、お子さまを保育園に送り出すときには、「がんばってね」ではなく、「たのしんできてね！」と笑顔で送り出していただければ幸いです。

今年度も、ありんこ親子保育園の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。



みんなで楽しい保育園にいきましょう！